

効果については両者ともありとしている。薬害
の程度と摘心効果は当然反比的関係にあるので、
今後はその点を考慮することとし、試験年次・
試験場数から今回は判定保留となった。

〔 訂 正 〕

前号に報告した概要表に次のような誤りある
いは補充があるので訂正したい。

(1) カンラン(プロメトリン)～薬量の単位

“ cc ” は “ g ” の誤り

(2) イチゴ本畑(CP-50144)～(継)
の項の “ 秋マルチ前 ” は “ 秋およびマルチ前 ”
の誤り(本文中も同様に訂正)

(3) トマト(GHS)～判定保留は今回の訂
正どおり

(4) キク(FC-907)～(実) の項の、
“ 適正後および 2,5 週間後 ” は “ 摘心後 2,5 週
間 ” の誤り

新 登 録 除 草 剤 一 覧

農 林 省 農 蚕 園 芸 局 植 物 防 疫 課

昭 和 4 7 年 8 月 1 日 ～ 1 2 月 3 1 日

分類	種類名	商品名	有効成分の種類 および含有量	剤型	対 象 作物名	適 用 雑草名	適用 地帯	適用 土壌	使用時期	10アール当り 使 用 量	使用方法	登録 会社
除草剤	DCMU 除草剤	クサウ ロン水 和剤8 0	3-(3,4-ジクロルフェ ニル)-1,1-ジメチル尿 素 80.0%	水和 剤	陸稲, ら つかせい とうもろ こし	畑作1年 生雑草			播種直後	60～100g	土壌全面散 布	山本 農薬
					だいず, あずき				播種直後 ～発芽前	70～100		
					ばいしょ				植付後	70～100		
					こんぱく く				～萌芽前	50～100		
					亜麻(単 作)				子葉展開期	60～ 80		
					アスパラ ガス				培土後, 萌 芽前後期, 培さくすし後	100		
					は っ か				萌 芽 前	70～120		
					しょうが				植付覆土後	60～100		
					らっきょ	ヤエモグラ 及び畑作1年生 雑草			ヤエモグラ 発芽前期	60～ 70		
					冬 作 麦	畑作1年 生雑草			植付覆土後 及び培土後	100～150		
					さとうき び				雑草の発芽 前	100～200		
					茶				雑草の生育 期	200～400		
					桑							
					果 樹							

分類	種類名	商品名	有効成分の種類 および含有量	剤型	対 象 作物名	適 用 雑草名	適用 地帯	適用 土壌	使用時期	10アール当り 使 用 量	使用方法	登録 会社
	TOPE 除草剤	アタックウィ ート乳 剤	パラニトロフェニル、メ タートリルエーテル 25.0%	乳剤	移植栽培 水稻	ノビエそ の他水田 1年生雑 草	全 域	壤土～ 埴土 減水深 2cm/ 日以下	移植後 5～10日 (ノビエ2 葉期まで)	800 ～1600cc	湛水散布 所定葉量を 10アール 当り50～ 80ℓの水 に稀釈し、 噴霧機又は ジョロで均 一散布する	東京 有機 化学 工業
							全 域		播種後 9～15日 ノビエ2 ～2.5葉期	1600 ～2400cc		
							北海道 を除く 地帯の 普通期 栽培田		田植直後 ～10日 ノビエ2葉期	1200 ～2000cc		
							北海道 を除く 地帯		播種後 9～14日 ノビエ 1～2葉期	1600 ～2000cc		
混 合 剤	DCPA ・ベン チオカ ーブ除 草剤	サター ン・デ ービー 粒剤	3,4-ジクロロプロピオン アニリド 17.0% S-(4-クロロベンジル) -N,N-ジエチルチオカ ーバメート 7.0%	粒剤	水 稲	ノビエそ の他1年 生雑草及 びマツバ イ	北海道 を除く 全域の 普通期 栽培地 帯	砂壤土 ～埴土	田植後 7～15日 (ノビエ2.5 葉期まで)	3～4Kg	湛水のまま 手まき又は 散布機で散 布	クミ アイ 化学 工業 保土 谷化 学工 業

1972年版 除草剤使用基準

財団法人 日本植物調節剤研究協会編

- ☆ 本書の特徴：農林省に登録されている除草剤で、各都道府県で普及に移されている除草剤の使用基準を一覧できるように編集しており、除草剤の普及指導者の必携書である。
- ☆ 体裁・頁数 B5判, 336頁位
- ☆ 価 格 1200円(送料140円)

申込は下記発行所をお願いします。

第1部 登録除草剤使用基準：昭和47年7月31日現在登録済の薬剤を収録してある。

第2部 都道府県別除草剤使用基準：各

植調編集印刷事務所

東京都港区芝愛宕町1-3
全国農村教育協会内

TEL 東京(03)436-3388番